

**国際医療経済・アウトカム研究学会(ISPOR) 日本部会
会員総会・第10回学術集会**

日時: 2014年8月29日(金) 12:30~17:10

場所: 星陵会館ホール 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

プログラム

12:30 - 12:55 ISPOR 日本部会 会員総会

13:00 - 13:05 ISPOR 日本部会会長挨拶

福田 敬 (国立保健医療科学院)

第1部 一般演題発表

セッション1. レセプトデータの活用

座長: 鎌江 伊三夫 (東京大学大学院)・池田 俊也 (国際医療福祉大学)

■ 13:05 - 13:10 座長挨拶

■ 13:10 - 13:25 [発表(1)]

レセプトデータを用いた先発薬・後発薬の選択に関する研究

滝沢治 (京都大学大学院)

■ 13:25 - 13:40 [発表(2)]

レセプトデータからみた前立腺癌に対する抗がん剤治療の現状

國澤進 (立命館大学)

■ 13:40 - 13:55 [発表(3)]

Real world data generation using healthcare databases in Japan from the pharmaceutical industry perspective

成松綾 (バイエル薬品株式会社)

セッション2. 経済評価の意思決定への応用

座長: 坂巻 弘之 (名城大学)・白岩 健 (国立保健医療科学院)

■ 13:55 - 14:00 座長挨拶

■ 14:00 - 14:15 [発表(4)]

STA submission, Technology Appraisal Guidance に学ぶ NICE 対応の実際

荒西利彦 (中外製薬株式会社・国際医療福祉大学大学院)

■ 14:15 - 14:30 [発表(5)]

日米欧の高血圧治療ガイドラインにおける医療経済評価の活用状況について

伊藤かおる (国際医療福祉大学大学院・ヤンセンファーマ株式会社)

■ 14:30 - 14:45 [発表(6)]

誰の健康改善を優先するか? 離散選択実験による選好分析

後藤励 (京都大学)

■ 14:45 - 14:55 休憩

